

官の公平として中立し、中立の援助の下に極度に乱甲し、至る所に小作人
衆の生活を迫害しつゝある。都會に於ては、資本の攻勢は愈々露骨
に労働者階級の奴隸化を強制し、之に反抗する無数の労働争議は
之又武装せる官憲の圧迫と、暴力團の兇器とに依り、徹底的に蹂
躪されてゐる。

かくて農民の耕作権、労働者の團結権、罷業権は、合法化され
た組織的暴力によつて破壊され、無産階級の言論、集会、結社の
自由は、未曾有の暴圧によつて迫奪されてゐるのである。

斯くの如き、我國現在の社会的情勢に當面して、我が労働農民党
の当面の任務は如何なるものであらうか、言ふまでもなく、労働
農民党は、其の命令下に労働農民の全勢力を糾合し組織して、

これら労働農民大衆の窮迫せる生活を打開するために、ブルジョアの政治
的勢力に対抗して、全線的に闘争を開始することである。即ち耕
作権、團結権、罷業権の確立、言論、集会、結社の自由、小作人及
労働者の完全なる組合法の獲得等の、労働者及び農民の要求
を戦ひとるために、大衆の無産階級の政治意識を喚起し、彼等
を無産階級の戦線に動員することによって、来るべき第五十二議會
に對する、無産階級の一大政治闘争を開始することである。

けれども現在の議會はいまだブルジョアの代表者の独占機關であつて
これら無産階級の要求を直ちに議會に反映せしめ、これが闘争の
舞台と化すことは不可能である。故に労働農民党当面の任務
は、前述の無産階級の政治的的要求の下に労働農民大衆を全線的に